

第3回 鬼怒川堤防調査委員会
議事要旨〈速報版〉

1. 日時 :平成 27 年 10 月 19 日(月)10:00～11:10
2. 場所 :さいたま新都心合同庁舎 2 号館 5 階共用中研修室5B
3. 出席者 :
委員長
安田 進(東京電機大学理工学部教授)
委員
池田 裕一(宇都宮大学大学院教授)
佐々木 哲也(国立研究開発法人土木研究所上席研究員)
清水 義彦(群馬大学大学院理工学府教授)
関根 正人(早稲田大学理工学術院教授)
高橋 章浩(東京工業大学大学院教授)
服部 敦(国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究室長)
4. 議事概要:
 - ・ これまでの委員会での議論を踏まえ、決壊原因の特定や堤防決壊のプロセスについて再整理した。
 - ・ 決壊区間の本復旧工法については、決壊原因や現地の状況の変化に対応した事務局案の構造とすることとした。
 - ・ 決壊区間の本復旧施工にあたっては、上下流との連続性に十分留意することとした。
 - ・ 今後の取り組みとして、決壊区間の本復旧施工時における現地調査や、決壊に繋がる恐れのある漏水の予測に資するデータ蓄積のための詳細調査等を行い、報告書を取りまとめることとした。
 - ・ 今回の被災を踏まえ、流下能力の向上等の鬼怒川全体にわたる更なる河川整備の必要性を再確認した。